

吸収合併に係る事前開示書面

2021年5月31日

(吸収合併存続会社)
東京都新宿区四谷本塩町6番14号
株式会社三陽商会
代表取締役 大江 伸治



当会社（以下、「甲」という。）は、吸収合併存続会社として、会社法第794条及び会社法施行規則第191条に基づき、下記のとおり開示いたします。

記

1. 吸収合併契約

別紙1のとおりです。

2. 合併対価の定め相当性に関する事項

完全親子会社間の合併につき、合併対価の交付はありません。

3. 吸収合併消滅会社の新株予約権の定め相当性に関する事項

吸収合併消滅会社であるサンヨーアパレル株式会社（本店：神奈川県横浜市中区石川町一丁目13番2号）（以下、「乙」という。）は新株予約権を発行していません。

4. 吸収合併消滅会社に関する事項**(1) 最終事業年度に係る計算書類等**

乙の最終事業年度（2021年2月28日）に係る計算書類等は別紙2のとおりです。

(2) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象

乙において、最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象は生じていません。

5. 吸収合併存続会社の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象

甲において、最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象は生じていません。

6. 吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本吸収合併効力発生日時点における甲の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。

また、本吸収合併後における甲の収益状況及びキャッシュフローの状況について、債務の履行に支障をきたすような事態は、現在のところ予測されておりません。従いまして、債務の履行に支障はないと見込んでおります。

7. 事前開示開始日後吸収合併効力発生日までの間に上記各事項に変更が生じた場合

事前開示開始日以降に上記各事項に変更が生じたときは、変更後の内容を直ちに開示いたします。

以上

別紙 1「吸収合併契約書」



2021-026

吸収合併契約書

東京都新宿区四谷本塩町 6 番 14 号に本店を有する株式会社三陽商会（以下、「甲」という。）と神奈川県横浜市中区石川町 1-13-2 に本店を有するサンヨーアパレル株式会社（以下、「乙」という。）とは、合併に関し、次のとおり契約を締結する。

（合併の方式）

第 1 条 甲及び乙は合併して、甲は存続し、乙は解散するものとする。

(2) 甲は、会社法第 796 条第 2 項の規定（簡易合併手続き）により、本契約につき株主総会の承認を得ないで合併する。

(3) 乙は、会社法第 784 条第 1 項の規定（略式合併手続き）により、本契約につき株主総会の承認を得ないで合併する。

（効力発生日）

第 2 条 合併の効力発生日（以下、「効力発生日」という。）は、2021 年 9 月 1 日とする。ただし、合併手続の進行に応じ必要があるときは、合併当事者協議の上、これを変更することができる。

（株式等の割当て）

第 3 条 甲は、合併に際して乙の株主に対して、その有する株式に変わる金銭等の交付を行わないものとする。

（資本金及び準備金の額）

第 4 条 甲は、合併によりその資本金の額及び準備金の額を増加しないものとする。

（権利義務の承継）

第 5 条 乙は、2021 年 2 月 28 日現在の乙の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに効力発生日までの増減を加除した資産、負債その他の権利義務の全部を効力発生日において甲に引き継ぐ。

（善管注意義務）

第 6 条 甲及び乙は、本契約締結の日から効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって業務の執行及び財産の管理運営を行うものとし、その財産及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為については、あらかじめ甲乙協議の上、これを行う。

（解散費用）

第 7 条 効力発生日以降において、乙の解散に必要な費用は、すべて甲の負担とする。

(合併条件の変更等)

第8条 本契約締結の日から効力発生日に至る間において、天災地変その他の事由により、甲又は乙の資産もしくは経営状態に重大な変動を生じたときは、甲乙協議の上、合併条件を変更し又は本契約を解除することができる。

(規定外条項)

第9条 本契約に定めるもののほか、合併に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従い甲乙協議の上、これを決定する。

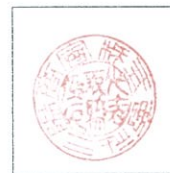
以上、本契約の成立を証するため、本書1通を作成し、甲乙記名押印の上、甲が保有し、乙は、その写し1通を保有する。

2021年2月26日

(甲) 東京都新宿区四谷本塩町6番14号
株式会社三陽商会
代表取締役 大江 伸治



【会社実印】



【訂正用会社実印】

(乙) 神奈川県横浜市中区石川町1-13-2
サンヨーアパレル株式会社
代表取締役 高村 仁



【会社実印】



【訂正用会社実印】

別紙 2「吸収合併消滅会社の最終事業年度（2021年2月28日）の計算書類等」

決 算 報 告 書

(第 70 期)

自 2020年 3月 1日
至 2021年 2月28日

サンヨーアパレル株式会社

貸借対照表

2021年 2月28日 現在

サンヨーアパレル株式会社

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	926,174,975	【流動負債】	313,832,223
現金・預金	401,543,049	買掛金	110,299,299
売掛金	52,769,012	未払法人税等	3,250,850
貸倒引当金	-1,000,000	未払費用	83,785,403
商品	420,699,735	預り金	105,799,563
貯蔵品	994,959	リース債務(短期)	5,852,108
前渡金	90,034	未払事業所税	1,345,000
立替金	11,000	賞与引当金	3,500,000
未収入金	25,979,495	【固定負債】	487,934,878
前払費用	4,213,791	長期借入金	450,000,000
預け金	3,460,800	長期未払金	1,981,200
未収消費税	17,413,100	退職給付引当金	30,932,497
【固定資産】	165,919,654	リース債務(長期)	5,021,181
【有形固定資産】	40,862,892	負債の部合計	801,767,101
建物附属設備	34,754,695	純 資 産 の 部	
器具備品	6,108,197	【株主資本】	290,327,528
【投資その他の資産】	125,056,762	資本金	100,000,000
差入保証金	122,545,050	資本剰余金	30,000,000
長期前払費用	2,511,712	その他資本剰余金	30,000,000
		利益剰余金	160,327,528
		利益準備金	21,200,000
		その他利益剰余金	139,127,528
		別途積立金	767,000,000
		繰越利益剰余金	-627,872,472
		(うち当期純利益金額)	-333,623,825
		純資産の部合計	290,327,528
資産の部合計	1,092,094,629	負債及び純資産合計	1,092,094,629

損 益 計 算 書

自 2020年 3月 1日
至 2021年 2月28日

サンヨーアパレル株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	932,417,172	
売 上 高 合 計		932,417,172
【売上原価】		
売 上 原 価	517,309,892	
合 計	517,309,892	
売 上 原 価		517,309,892
売 上 総 利 益 金 額		415,107,280
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		673,468,551
営 業 利 益 金 額		-258,361,271
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,550	
雑 収 入	18,865,308	
営 業 外 収 益 合 計		18,866,858
【営業外費用】		
支 払 利 息	5,641,139	
雑 損 失	2,200	
営 業 外 費 用 合 計		5,643,339
経 常 利 益 金 額		-245,137,752
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	176,400	
減 損 損 失	30,753,680	
災 害 損 失	48,629,853	
解 約 違 約 金	5,550,000	
事 業 構 造 改 善 費 用	1,376,140	
特 別 損 失 合 計		86,486,073
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		-331,623,825
法 人 税 等		2,000,000
当 期 純 利 益 金 額		-333,623,825

販売費及び一般管理費内訳書

自 2020年 3月 1日
至 2021年 2月28日

サンヨーアパレル株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	158,045,475
賞 与	6,403,200
雑 給	6,945,125
法 定 福 利 費	27,919,082
福 利 厚 生 費	1,158,081
退 職 金	809,800
退 職 給 付 費 用	2,348,042
退 職 年 金 拠 出 金	2,440,956
賞 与 引 当 金 繰 入	3,500,000
販 売 手 数 料	48,943,212
運 賃 荷 造 (運)	8,701,881
運 賃 荷 造 (荷)	2,276,094
広 告 宣 伝 費	49,746,370
交 際 費	13,842
会 議 費	19,709
旅 費	264,947
交 通 費	418,598
通 信 費	4,114,406
水 道 光 熱 費	15,604,700
消 耗 品 費	845,123
修 繕 費	5,691,034
機 械 設 備 賃 借 料	3,351,625
保 険 料	3,140,690
減 価 償 却 費	9,434,504
資 産 除 去 債 務 償 却 費	508,500
不 動 産 賃 借 料	256,949,334
租 税 公 課	777,809
業 務 委 託 費	48,682,717
事 業 所 税 繰 入	1,344,700
図 書 費 諸 会 費	367,569
雑 費	2,701,426
販売費及び一般管理費合計	673,468,551

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 2020年 3月 1日
至 2021年 2月 28日

サンヨーアパレル株式会社

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高		100,000,000
	当期末残高		100,000,000
資 本 剰 余 金			
そ の 他 資 本 剰 余 金	当期首残高		30,000,000
	当期末残高		30,000,000
資 本 剰 余 金 合 計	当期首残高		30,000,000
	当期末残高		30,000,000
利 益 剰 余 金			
利 益 準 備 金	当期首残高		21,200,000
	当期末残高		21,200,000
そ の 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金	当期首残高		767,000,000
	当期末残高		767,000,000
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		-294,248,647
	当期変動額	当期純利益金額	-333,623,825
	当期末残高		-627,872,472
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		493,951,353
	当期変動額		-333,623,825
	当期末残高		160,327,528
株 主 資 本 合 計	当期首残高		623,951,353
	当期変動額		-333,623,825
	当期末残高		290,327,528
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		623,951,353
	当期変動額		-333,623,825
	当期末残高		290,327,528

監査報告書

2020年3月1日から2021年2月28日までの第70期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2021年3月24日

サンヨーアパレル株式会社

監査役

田中秀文 

営業の概況

2021年2月期、通期決算の営業の概況について、ご報告申し上げます。
2019年4月23日の臨時株主総会にて決算期を変更いたしました。これにより、前期決算は14ヵ月の変則決算となったため、当期の事業報告においては業績に関する前期比増減の記載を省略しております。

当期累計期間（2020年3月1日～2021年2月28日）は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、企業収益の急激な低下や雇用環境の悪化が続いています。

アパレル・ファッション業界におきましては、消費者の購買意識の変化に伴う販売チャネルの多様化が進むなか、衣料品に対する節約志向は依然として強く、更に新型コロナウイルス感染拡大の影響により政府の緊急事態宣言発出後、密を避ける行動様式の広がりや感染再拡大による実店舗への来店客数の減少など、非常に厳しい市場環境が継続しています。

その結果、売上高は932百万円、経常損益は245百万円の損失となりました。

以下、部門別にご報告をいたします。

小売店舗G&Bにつきましては、2020年12月末に江坂店、2021年1月末に昭島店、相模原店を閉店し2021年2月末現在、7店舗となります。

新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により外出自粛の動きが一段と強くなり、店舗への来店客数減少、また、積極的な集客策を施せず、秋冬物商品の消化に努めるも厳しい結果となりました。売上高は780百万円、114百万円の経常損失となっております。

催事セール部門につきましては、三陽商会と連携し新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を施して9月より開催し、在庫の消化に努め運営を行いました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴い、来場者数の減少など、厳しい市場環境となりました。

その結果、売上高、三陽商会手数料収入145百万円、協賛他社手数料収入7百万円、催事部門全体の売上高（手数料収入）152百万円、経常損益は14百万円の損失となりました。

卸売部門の売掛残

ヒツジヤ	¥794,000	エルローブ	¥1
		計	¥794,001

単位：千円

部門	2020年2月期実績		2021年2月期実績			
	売上高	経常損益	売上高	前年同期比	経常損益	前年同期比
G&B店舗	1,462,108	29,265	780,477		-113,614	
催事セール	420,542	99,686	145,119		-14,173	
会場手数料	23,380		6,821			
小売・催事計	1,906,030	128,951	932,417		-127,787	
本部	0	-172,545	0		-117,351	
総計	1,906,030	-43,594	932,417		-245,138	

前期は決算期変更により14ヶ月決算となっておりますので、対前年同期比については記載しておりません。